

Welcome to
KYOTO
in Summer



東山三十六峰譚繪卷

小月はおぼろに、東山：
 山紫水明の都に連なる東山三十六峰は、
 いったい、どの山を指すのかも、
 その呼び名や文字も、折々に変化を見せる不思議な山々です。
 歴史と伝説でつづられてきた東山の魅力を、季節ごとに紹介してまいります

第一峰 比叡山 ひえいざん

風格。平安時代には「山」といって
とでした。夏も涼風が吹くこの雪
区修学院から坂を歩いて登るこ
り。坂の名も「雲母坂」と美しい。

第二峰 御生山 み あれやま

京都三大祭の一つ「葵祭」に先だつて、5月12日、祭神の玉依媛命・賀茂建角身命を迎える「御蔭神社」があるところから、別名「御蔭山」。この神事は御蔭祭といひます。

第三峰 赤山 せきざん
赤山の赤山禪院に参詣すると「坐
い」といふ巷説から、「五日講」の習
と十払いの風習に転じたとされて
の「へちま加持」でも有名です。

謎の山の一つめが登場しまー
280メートルで、御生山や赤山
に、地図の上では山の名は記さ
れな人しか登れません。

第五峰 葉山 はやま
どこからどこまでが葉山なのかほとんどわかりませんが観音堂があり、毎月17日と18日には本尊の三面馬面観音が開扉されます。

第六峰 一乗寺山 いちじょうじやま

宮本武蔵の「一乗寺下り松の決闘」とは不明です。ふもとの「野仏座」ものです。

第七峰 茶山 ちややま
江戸時代の豪商・茶屋四郎次郎
の山。現在、低い頂上へ向かう道
大学内の石段に。

つて頂上にあつた勝軍地蔵が北白川へ移
 転したところから、勝軍地蔵山、「瓜生山」の
 名は複雑に絡み合つてヤマイシイ。

第九峰 またしらのやま **北白川山**

「田瓜生山」から遷座した勝軍地蔵は秘仏で
 公開されないが、江戸の昔には五十日間も開
 帳されたといふ。